

会議の名称	議会改革特別委員会	開催月日・令和4年8月1日 開会時間・午前・午後1時26分 閉会時間・午前・午後2時08分
出席者	野口 佳宏 糟谷 玲子 柴田 喜朗 安井 智子 花村 隆 星野 明	
欠席者		
オブザーバー	議長 南谷 佳寛 副議長 後藤 國弘	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長、中村同課主任	
協議事項	令和4年度の協議事項について その他	

【開会=午後1時26分】

野口委員長

ただいまから議会改革特別委員会を開会いたします。本日は前回に引き続き、令和4年度の協議事項について協議をいたします。前は議会におけるタブレット端末導入について継続して協議することのほか、外部との連携や勉強会をしてはどうか、一般質問と代表質問のあり方というご意見をいただいたかと思えます。改めて、こういったものを協議してはどうかということについて皆さんのご意見をお伺いして決定していきたいと考えますのでよろしくお願いをいたします。前回宿題というような形で今回の議会改革特別委員会で協議していく事項を考えておいてくださいということでお話をさせていただきましたので、何か協議事項、他にございましたら、ご意見をいただきたいと思えます。

糟谷委員

常任委員会が今羽島市議会は1年ずつで交代というふうになっているんですけど、他市町は2年任期が多くて、何か常任委員会で課題を持ってやろうと思っても1年だとすぐ終わってしまってなかなか結果として出てこないというのがあるので、常任委員会を2年任期にするとどうかなというふうに思うんですけど、飛騨市へお邪魔したときも2年任期で、委員長は1年ずつで交代をしていかれるというやり方をしてみえるんですけど、そうしたものをぜひ羽島市議会でも導入されると、常任委員会としてのレベルアップが図られるんじゃないかなというふうに思えますので、よろしくお願いいたします。

野口委員長

ありがとうございます。とりあえず、今糟谷委員からありました常任委員会ですね、の任期を今1年、期間が短くて、行政に対して政策提案とか、そういった協議も1年ではなかなか短いということで、2年にしてはどうかということでした。

今日、項目についてお話するので、他に何か新しい議会改革、こういうことでやっていきたいということがあったらよろしいですか。

柴田委員

パンフレット端末の話がさっき出たけど、タブレット端末と言うわりに話が進んでいない気がします。多分何も進まない気がするのでもっと具体的な金額というか、そのあたりまで提示して、これだけくださいと言った方がより

野口委員長	<p>現実味として、この金額だったらいけるんじゃないかみたいな感じをちょっと匂わせてあげないと話が進んでいかないので、そこだけちょっと何とかしていきたいなと思っています。</p>
糟谷委員	<p>確かに前の議会改革特別委員会でもタブレット端末導入ということでやってきて、継続して協議するという事になったので、今回のこの議会改革特別委員会ではちゃんとスケジュール等々も含めて決めていきたいと思っています。それは重々承知しておりますので、タブレット端末についてはちゃんとスケジュールリングしてやっていくということで進めていきたいと思っています。</p>
野口委員長	<p>今の皆さんからいろんな意見いただいた、皆さんから前回も今回もということで、出ている項目は結構あると思いますし、進めていく中でこれがまた必要だということになれば、またその中で加えていってもいいんじゃないかと思っていますので、まず、出ているものをスケジュール組んで進んでいった方がいいと思いますのでよろしく願います。</p>
野口委員長	<p>随時検討事項等については受け付けていきたいと思っていますので、出てきた協議内容、項目ですね、議会におけるタブレット端末の導入、外部との連携や勉強会、一般質問と代表質問のあり方、常任委員会の任期を2年してはどうかと、この4つについて協議をしていくということでよろしいでしょうか。</p>
野口委員長	<p>(異議なし)</p>
花村委員	<p>ありがとうございます。次に、協議事項に関するスケジュール、順番について協議をしていきたいと思っています。予算措置が必要なもの、条例等の改正が伴うこと、委員会関係の協議については議会運営委員会との連携が必要となってくるように思います。また、比較的早く求められそうなものについて先に協議してはと考えておりますけれども、この協議の順番について何かご意見ございましたらお伺いをしたいと思います。</p>
花村委員	<p>今委員長が言われた議会改革と議運との関係で、この辺の連携をやっていかないといけないということになると、</p>

	<p>一般質問と代表質問についてや委員会の任期については、議運との連携を確認しながら進めていくのがいいかなと思いますし、あとタブレット端末や勉強会については、こちらの方で進めていけるのではないかというふうに思われます。以上です。</p>
野口委員長	<p>タブレットは、新しく物を導入したりシステムということになってくると予算がかかってくるので、タブレットの導入に関しては、早くどういったものを、どういったタブレットを導入して、どういったシステムを使ってということは早く協議をした方がいいのではないかなと思っております。</p>
柴田委員	<p>9月の決算が終わった後、すぐに多分各会派が予算要望という形で出されると思うんですけど、そのときにできるのかどうかわからないけど、普通会派で出しているものを、あえてこの議会改革特別委員会としてこ、れでどうでしょうかという形に持っていくことは可能ですか。</p>
野口委員長	<p>委員会から行政に対してということですか。</p>
糟谷委員	<p>委員会でまとめたものを全協で諮っていただいて、それでいいというふうになれば、議長から執行部の方にとということになると思います。ここはあくまでもいろいろ審議をして、それを皆さんにこういう結論ですがいかがですかというふうに提案をするところ。</p>
柴田委員	<p>もし今回、提案をするということであれば、それこそ今日とか最初に決めないと、今日とかそれとか次の議会前に1回諮っていただいてというスケジュールじゃないと、結構近々になると思うので、今日この場で、私はタブレットをできれば導入していただきたい派なので、協議してみたいかがでしょうか。</p>
野口委員長	<p>ありがとうございます。次の日程はまたお話ししますので、近いうちにやりますので、タブレットについては糟谷委員お話されましたけど、ここで協議をし、全協で議員の皆さんにお諮りして、OKが出れば議長が行政側に要望をするというこの流れに関しては、皆さん賛成していただけますかね、それしかないだろうと思うんですけど、ちなみになんですけど、このタブレットなんですけど、OKしていた</p>

	<p>だいて、10月頃に行政側の方に議長が要望を出しに行く と、実際、タブレット導入ということになると、やはり来 年度になるわけなんですけど、実際、選挙が来年あるので、 きりがいいのかなって思ったりもしていますので、もし導 入するということになった場合、何月議会から導入してい くという目標ですね、これも決めておいた方がいいのかな と思うんですが、どうでしょうか。</p>
<p>柴田委員</p>	<p>飛騨市に行ったときは、最短であれば選挙が終わって6 月がすぐだと思うんですけど、1回は両方使えるような形 でやられたと視察に行ったときに聞いて、1回目はとりあ えず紙とタブレット両方使える形にして、タブレットのみ になるのは9月くらいかなと思います。</p>
<p>野口委員長</p>	<p>9月というのは、タブレットに一本化していく。</p>
<p>柴田委員</p>	<p>ただ、導入としては6月という形、導入自体は6月だけ ど、まだいきなりは慣れない方がいらっしゃると思うので。</p>
<p>野口委員長</p>	<p>6月議会は並列でやって、9月に切り替わる。</p>
<p>柴田委員</p>	<p>完全に切り替わるという形が、飛騨市はそういう形だっ たと思います。それに倣ってもいいのかなというふうに思 います。</p>
<p>議会総務課長</p>	<p>6月の定例会から使うということは、その前に練習が必 要かと思うんですけども、そうなりますと新年度予算が 4月につきますけれども、そこから契約が始まりますので、 ちょっと時間的に厳しいかもしれないと思っております。</p>
<p>野口委員長</p>	<p>6月スタートがという事、</p>
<p></p>	<p>6月は併用でという話だったんですけども、併用でも 物がないといけない、4月から契約が始まるので、ちょっ と時間的には厳しいかと。</p>
<p>野口委員長</p>	<p>だから6月はちょっと厳しい、時間的にちょっと厳しい かなという感じ、研修とか使い方とかやはり全員でこうや ってやるんだよというのが必要になってくるんだったら、 柴田委員が言ったのは、6月に紙ベースでタブレットと併 用してやっていって、9月から切り替える、でもそれがス</p>

糟谷委員	<p>クールスケジュール上ちょっと難しいから、1つずらして9月に併用して、12月に切り替わる。9月議会併用、12月議会はタブレットに切り替わる。皆さんどうですか。ちゃんとやはり研修もやらないといけないと思いますし、使い方ですよ、どういったことができ、こうやって使っていくという研修は必要だと思うので。</p> <p>私みたいな人はなかなかそのような切り替えができないし、研修を受けないとだめだし、また、今度入ってみえる方がそこまでできる方ばかりかどうかもわからないので、やはり研修期間というのはある程度必要になってくるし、事務局の方の対応も必要になってきますよね、そういうことを考えると、選挙終わってすぐに5月で、またそれで6月すぐですから、そのときに併用というのはちょっと期間的には難しいかなというふうに思いますので、委員長言われたみたいな形、9月併用の12月タブレットオンリーにするという形が一番スムーズにいくんじゃないかなと、慌ててやってもうまくいかないのだめなので、正確にきちんと皆さんができる形でやっていただけるとありがたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
野口委員長	<p>他に何かご意見ありますか。新年度予算要望します、新年度予算ついたらついたらで契約等々を進めて、6月とかに間に合えば、研修とかはできるのでしょうか</p>
議会総務課長	<p>今度改選がございますので、そうなりますと、5月の下旬というのは新人の方の研修とか市内の視察とか、そういったものがございますので、ちょっと厳しいかと思います。</p>
野口委員長	<p>9月議会で紙、タブレットを併用しつつ、タブレットがあれば研修もどこか議会中の休会の日とか使ったり、9月議会以降でも研修はできると思うので、8月にがんばればできる、予定として8月研修でよろしいですかね、予算が通ればですけど、何とかしなあかんと思っているんで、予算が通ったとして、7月もしくは8月研修の期間として、9月議会は紙ベースのものとタブレットを併用する、12月議会からタブレットに切り替えると、こういう方針でよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>

野口委員長	<p>タブレットについてはそういうスケジュールで予定としていきたいと思います。</p> <p>一般質問と代表質問のあり方というのは、これは代表質問と一般質問の言葉が悪いかもしれませんが差別化というか、を図っていくという感じでしょうか。</p>
糟谷委員	<p>他市町いろいろ見させていただくんですけど、代表質問というのがないところが結構ありまして、全員がくじ引きのところもあれば、提出順のところもあれば、代表質問は県会はたくさんやってみえるかも、なかなか市とか町では少ないので、代表質問制度が、もうちょっと調べてもらって、全部一律でもいいのかなというふうに思っているんで、それをちょっと協議してもらいたいということです。</p>
野口委員長	<p>どうでしょう、この代表質問と一般質問のあり方ですけど、1回事務局に調べてもらった方がいいのかな、ちょっと参考資料がないとなんとも協議できないので、ちょっとお調べいただいて、その資料を参考に協議を進めていけたらなと思うんですけど。</p>
花村委員	<p>調べていただくことに越したことはないんですけど、その時にどういう着眼点で調べるか今のこの代表質問制度の問題点と見て見るところがあるならば、それをちょっと知りたいんですけど。</p>
糟谷委員	<p>今の代表質問はたくさんの会派でも代表質問1人会派でも代表質問ということで、1人会派の方を羽島市は認めているんですけど、そういう方が続くじゃないですか。それがどうなのかなというふうに思っているんです、人数的なことを考えると、1人会派を認めない議会もありますけど、認めない議会だったら人数の多いところで終わってしまうんですけど、代表質問をする1人会派の方が増えてきていますので、いかがなものかなというふうに私は思っています。</p>
花村委員	<p>今のお話伺うと、1人会派を認めるかどうかという話にも関連してくるかなという、1人会派を認めているので、羽島市は、それでこういったことになるんですけども、そうでなければ、県議会のように大人数の会派だけで代表質問が終わるという形になるので、その辺の会派を1人でも認めるのかどうかということにつながるのかなというこ</p>

	<p>と感じました。以上です。</p>
糟谷委員	<p>1人会派は前の議会改革の中で認めていくというふうになりましたので、それを認めていくなら代表質問をなくして、皆一律にしてもいいんじゃないかなと私は思ったんです。そういうことです。</p>
野口委員長	<p>代表質問という括りをなくして、皆さんもちろん全員が質問できますからねということですね。確かに議会基本条例の協議しているときに1人を会派認めるか認めないかという協議があって、羽島市議会としては1人会派を認めていくという決定になった記憶がございますので、まずとりあえずどうでしょう、事務局の資料を。</p>
柴田委員	<p>お聞きしたいことがあって、ちょっとその前の段階の方がちょっとわからないんですけど、議長は質問できないんですか。</p>
糟谷委員	<p>できないことはなくて、そのときは副議長に代わってもらって議長がやるというところもなきにしもあらずですけど、だいたい慣例として議長はやらない、でももしやられたいときには副議長と交代されればできないことはないそうです。ちなみに大垣は議長、副議長はやらないというふうになっているようで、だからそれぞれの市町によって慣例がいろいろあります。</p>
柴田委員	<p>申し合わせではないですか。</p>
糟谷委員	<p>申し合わせではないですね。</p>
野口委員長	<p>副議長もやらないところありますよね。</p>
糟谷委員	<p>だから議会によって違いますね。今の一般質問と代表質問の差がわからなくて、だから提案させていただいたんです。そうだったらみんな一律にして、くじ引きなり何なりしてもいいのかなというふうに思っているので、代表質問と一般質問の差というのがちょっとわからない。</p>
野口委員長	<p>そうですね、ちょっと協議をしていくので、情報収集だけよろしく願いをいたします。 あともう一つ、外部との連携や勉強会についてはどうで</p>

糟谷委員	<p>しょう。</p> <p>これは私が話させてもらったんですけど、この間高山市の方へ勉強させてもらいに行ったんですが、高山市さんがあの結構いろんなマニフェストとかいろんなもので表彰されて見えるんですけど、内容をお聞きしますと、外部の方に、大学教授とかそういう方にいろんなアドバイスを受けながら議会運営をやっておみえになるんです、私も議長やらさせていただいたんですけど、いろいろ悩むこともたくさんありまして、そういうときに第三者の的確に指導をしてもらえるような人からアドバイスをもらえるとありがたいなというふうに思っていますし、議員の定数を削減して欲しいという市民からの要望がありますから、そのときに議員の資質を上げてほしいというのがありました、議員の資質を上げるためにも、そうした勉強会をこれからしっかりやっていった方がいいんじゃないかなというふうに思いまして、提案させていただきました。以上です。</p>
野口委員長	<p>この外部との勉強会について、皆様ご意見あったら、結構、外部との連携をやっているところはあってですね、大津市なんかは外部と連携して、議会の評価制度というのを導入しています。これは後ろ向きなものではなくて、ちゃんと議会が行政に対して政策提案できたかどうかというようなことも、今外部との連携というのはいろんな議会で導入されているところなので、こういったこともいいのではないかなと思っていますが、外部との連携、勉強会というののもやはり外の意見というか、議会運営も含めてですけど、やっていくと、議会活動の幅というののも広がっていくんじゃないかなと思っていますので、なかなか羽島市議会は外部の人と意見交換というか、なかなかないですよ。</p>
糟谷委員	<p>前に海津とやりましたね。</p>
野口委員長	<p>隣の自治体議会ということですね。</p>
糟谷委員	<p>高山市さんの場合は本当にきちとした方と、契約じゃないですけど、そういうふうに結んで、定期的に何かあったときにはアドバイスを受けてとか、そういうことやっておみえになったんですけど、可児もそうでしたよね、可児市議会も大学の方と連携してやってみえたんですけど、そういう外部のいろんな声を聞くのもとってもいいんじゃない</p>

いかなというふうに思っています。金額的なところもいろいろあると思いますので、そういうところも協議していかないといけないと思いますけれど、よろしく願います。

野口委員長

金額となってくるとまた予算、糟谷委員が前回議長やられていて、私が副議長と一緒に高山行ってきたんですけど、いいなと思いました、その資料の要点まとめて、皆さんにこういうものですみたいな、ちょっと協議していきましょう。またこの委員会でお知らせいただければと思います。

常任委員会の任期を2年にというので、資料を皆さんにお配りしますので、全国の地方議会がどういうものなのかというのをお示ししますので、全国市議会議長会の資料になりますので、ちゃんとしたデータでございます。何が示されているかということ、委員会条例で定められた委員の任期ということ、常任委員の任期1年、2年、4年、その他ということ書かれております。羽島市6万7000人の人口でいくと、2段目ですね。そうすると、任期1年が19.6%、任期2年は圧倒的に多くて70.8%がもう既に常任委員会は2年でやっていますよとということが示されております。この資料、令和2年12月31日現在ということになっているので、これもこの資料を見ながら協議をしていってはどうかと思います。現状はこういった形であります。せっかくなんでお聞きしたいんですけど、今の現状でいいんですけど、皆さんどうですか、任期1年ですけど、2年という、これから調べていかなきゃいけない、調査しなきゃいけないところ出てくるんですけど、私は2年でもいいかなと思っているんですが、議会改革これまでできて、各常任委員会の市内の管内視察、私、今年は産建ですけど、新濃尾とかも視察してきましたし、他の委員会もいろんなところを見てこられると思うので、そういったことを積み重ねていって、ちゃんと行政に政策提言できるような形をとろうと思うのであれば、1年ではなくて2年が私は妥当なのかなと思ったりもしているんですけど、今現段階でどうでしょう皆さん、決定じゃないです、ちょっと参考までにちょっとお聞きしたいなと思って。

安井委員

前回委員会やったときに、視察に行ったりとか、その項目についてやっていきたいよねという事柄があったときに、1年でちょうど終わってしまっ、次の方にそれをお願いするというふうに申し送りをお願いと言っていたんですけど、やはりそれがうまくいなくて、そこで終わって

野口委員長	<p>しまったという残念なことがあったので、やはり2年というのはいいのかなというふうには思いました。</p> <p>ありがとうございます。1年だと途切れちゃってということですね、継続的にという、2年でいいということで、星野委員どうですか。</p>
星野委員	2年でいいです。
野口委員長	花村委員どうですか。
花村委員	2年で。
野口委員長	決定じゃないので、大丈夫。柴田委員は。
柴田委員	2年がいいです。
野口委員長	<p>糟谷委員はもちろん2年で、とりあえず2年でもいいよということなんですけど、こちら各委員調べて、議会各特別委員会でこういう話が出たけどというので、議運にもお話をしなきゃならないので、会派でお話いただいて、いろんな意見を持ち寄って、またこの委員会でお話をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>ある程度協議事項と協議の道筋は立てることができたのかなと思いますけれども、何か他にご意見ありますか。</p>
野口委員長	<p>(特になし)</p> <p>ご貴重なご意見ありがとうございました。次回、8月19日、議員セミナーがございますが、午前中皆さんお時間どうでしょうか。</p> <p>すいません、ちょっと日程調整の前に、委員会のオンライン開催、非常時のとき、オンライン開催ができるように条例の整備を進めると、オンライン開催は結局タブレット導入されないといけない、ちなみにですけど、これは他の議会がやっているからというところなので。</p>
議会事務局長	<p>始まりはコロナの関係で議会を開くことができないというか、ちょっと危ないという状況の中で、各市議会として何とかできないかというのがあって、全国と言いますか、国の方は、本会議は法律上そこに集まって会議をしないと</p>

	<p>いけないんですけど、委員会については会わずにオンラインで常任委員会も開催できるというのが国の方が条件を示した関係上、今後コロナというのははずないのかもしれませんが、大地震とか大規模災害のときに、どうしても委員会室に集まって議論ができない場合等に、各自宅とか避難所とかから委員会が開催できるという形での会議規則等の改正をしておけば、いざというときにそれが可能になるといところです。</p>
野口委員長	<p>ということで、どうでしょう皆さん、タブレットの導入と並行して協議していくのがいいのかなと思うんですけど。</p>
柴田委員	<p>先に作るのは問題ないですよ。変えておいて、その後でタブレット導入で本格的にというか。</p>
糟谷委員	<p>タブレット導入についての中にその名を入れて、並行でやった方がいいと思いますよ。</p>
野口委員長	<p>実際、昨年広報広聴委員会で開催した市民との意見交換会もオンラインで開催されたので、本会議はだめですけど、委員会は万が一何かあったときはオンラインでもいいというようなことを、タブレット導入の協議と並行してこのオンライン開催というのも考えていってはどうかという話なんですけれども。皆さんよろしいですか、そのような流れでよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>ということで、日程調整でございます。8月19日金曜日10時からよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>第32回の開催については8月19日金曜日午前10時から開催したいと思いますので、改めて通知の方をさせていただきますのでよろしく願いいたします。</p> <p>それでは本日の議会改革特別委員会を終了します。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【閉会=午後2時08分】</p>

